

開館10周年記念・KRY山口放送開局50周年記念  
陶器が語る来世の理想郷

# 中国古代の 暮らしと夢

## — 建築・人・動物

Dream of Ideal Life in Ancient China  
Ceramic Miniatures of Architectures, Household Goods, People and Animals

平成18年8月12日(土)～9月24日(日)  
山口県立萩美術館・浦上記念館

主催 山口県立萩美術館・浦上記念館・読売新聞西部本社、KRY山口放送  
後援 萩市  
開館時間 午前9時から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)  
休館日 毎週月曜日(月曜が休日の場合はその翌日)  
観覧料 一般 1,000円(900円)  
学生 800円(600円)

\* (内は20名以上の団体料金。なお70歳以上と18歳以下の方、および高等学校・中等教育学校・盲学校・聾学校・養護学校に在籍する生徒は無料)



水樹(池中の屋様)  
緑釉陶 後漢



踊る農民 加彩 北魏

開館10周年記念・KRY山口放送開局50周年記念

陶器が語る来世の理想郷

# 中国古代の暮らしと夢

## —建築・人・動物

**Dream of Ideal Life in Ancient China**  
Ceramic Miniatures of Architectures, Household Goods, People and Animals

～テーマは生きる喜び～

中国古代の人々は、人間の靈魂は永遠不滅であり、墳墓がこの靈魂の住まいであると考えていました。また、死後の世界は、現実世界の延長であり、そこでの暮らしぶりは、現世となんら変わるところがないと考えていました。そして、墳墓で暮らす祖先が正しく祀られれば、子孫のために災厄を退け、福をもたらすが、正しく祀られなかった場合や、来世で不幸な目にあった場合には、子孫に悪い影響をおよぼすと信じられていました。そのため、墓の主が満ち足りた生活を送れるように、現実世界のさまざまなものを明器や俑に作って墓に副葬したのです。明器とは、副葬品の一種で、実際とは異なる材質に形を写して、本来の実用性を失わせることによって来世で使われることを明らかにしたものです。俑は明器の一つで、人間や動物をかたどったものです。明器や俑は青銅や木、陶器など様々な材質で作られましたが、なかでも陶製の明器や陶俑は、どの時代においても最も多く作られました。手のひらに乗る小さな犬から、高さ1メートルを超える大型建築模型まで、生活空間を構成するさまざまな建築物や生活道具、自然風景、そこで生活する人間や動物、そして来世への憧れを描いた器物など、その内容は非常に豊富です。こうして、地下の世界に「生きる喜び」にあふれた理想郷が創出されたのです。

このたび展示されるのは、漢時代（紀元前206年～紀元後220年）から清時代（1644年～1912年）に製作された陶製明器や陶俑を中心とする110余点です。これらの明器や俑は、各時代の人々の生活を生き生きと眼前に甦らせます。中国古代の人々が来世に伴いたいと願った生活情景の数々、働き、舞い踊って生活を楽しむ人々や、彼らとともに暮らす動物たちなどによって、その生活の息吹と夢をたどります。



酒器・食器 加彩 前漢～後漢



解牛・解猪 緑褐釉陶 後漢



猪圈 灰陶 後漢（部分）



鎮墓獸 加彩 北齊

狗圈 青磁 西晋



仕女・駁者・馬 灰陶 元



住居 加彩 明

- 記念講演会（当館講座室。聴講無料。定員先着80名。）  
日時 8月12日（土）13時30分～15時00分（兼・平成18年度第2回美術講座）  
演題 「俑と明器 その魅力と鑑賞」 講師 矢島 律子（町田市立博物館学芸員）
- ギャラリーツアー（当館学芸員による展示解説） 毎週日曜日11時00分～12時00分

- 同時開催のご案内
- 浮世絵展示  
浮世絵に描かれた動物たち 7月11日（火）～8月20日（日）  
江戸のグルメ 8月22日（火）～9月24日（日）
- 東洋陶磁展示  
やきものに象られた動物たち 6月10日（土）～9月24日（日）

JR東萩駅からタクシー7分/まあるバス20分/徒歩30分  
JR新山口駅から防長交通「特急はぎ号」65分・中国JRバス「特急はぎ号（山口・湯田温泉経由）」83分（萩バスセンター下車、徒歩15分）  
萩・石見空港（島根県益田市）から直行バス75分（萩バスセンター下車、徒歩15分）  
山口宇部空港から萩近鉄タクシー「乗合タクシー」75分（ただし利用前日までに要予約、電話 0838-22-0924）  
中国自動車道小郡I.C.美祿I.C.から50分

